

**令和 8 年度 自動運転の社会実装に向けた実行計画検討業務委託に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について**

1 案件名称

令和 8 年度 自動運転の社会実装に向けた実行計画検討業務委託
契約期間 契約日から令和 9 年 3 月 26 日まで

2 選定した委託予定事業者

「令和 8 年度 自動運転の社会実装に向けた実行計画検討業務委託」先進モビリティ
株式会社・株式会社みずほ銀行共同提案体

3 公募期間

令和 8 年 7 月 9 日から令和 8 年 8 月 10 日

4 学識経験者の意見を聴取する選定会議の委員による審査の結果

(1) 選定会議委員名簿（敬称略）

補職名	氏名
立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授	塩見 康博
京都大学大学院 工学研究科 准教授	松中 亮治
関西学院大学 経済学部 准教授	村上 佳世

(2) 選定会議の開催日 令和 8 年 8 月 26 日

(3) 審査基準

評価項目		基準		配点	
業務実施体制	実施体制の的確性	同種業務の実績があるスタッフを配置し、業務を確実に遂行できる体制であるかを評価する。		10	30
	業務責任者	同種業務の実績があるか、また、その実績として挙げた業務において中心的、あるいは主体的に参画したかを評価する。		10	
	業務実施計画	実施方針や実施手順の妥当性を評価する。		10	
テーマに対する技術提案	テーマ1	合理性	バイエリアの開発状況や淀川左岸線の整備状況を踏まえた交通拠点から集客拠点（バイエリア等）へのアクセスルートを設定したうえで、そのルートにおける社会実装までのステップ（インフラ等の整備、実証実験の段階、レベル4の許認可取得、商用運行の開始など）を目標年次及び次のステップに進むための課題や理由を示しつつ提案するとともに、民間主体の運行への移行時期や運行主体となりうる事業者の候補について検討すること。なお、提案内容の実現性については、エビデンスを示すこと。	25	70
		実現性	提案された自動運転の社会実装までのステップ及び運行主体の候補と要件に、実現可能性があるかを評価する。	15	
	テーマ2	実現性	自動運転の社会実装の候補として設定する運行ルートにおいて、社会実装を行うことにより得られる事業効果を3例提案するとともに、定性的な事業効果については、定量化するにあたっての評価指標を示しつつ、それぞれの事業効果において試算を行う場合の評価項目と評価理由を提案すること。	15	
		提案力	示された効果試算の評価項目と評価理由が的確であるかを評価する。	15	
	合計			100	

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

「令和8年度 自動運転の社会実装に向けた実行計画検討業務委託」先進モビリティ株式会社・株式会社みずほ銀行共同提案体

全1者

(5) 審査の結果（委員の評価点の合計点）

評価項目			A 者
業務実施体制	実施体制の的確性		23 点
	業務責任者		25 点
業務実施計画			21 点
テーマに対する技術提案	テーマ 1	合理性	46 点
		実現性	28 点
	テーマ 2	実現性	29 点
		提案力	29 点
合計（300 点）			201 点